

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 3 部門第 3 区分
【発行日】平成20年3月6日(2008.3.6)

【公表番号】特表2007-518869(P2007-518869A)
【公表日】平成19年7月12日(2007.7.12)
【年通号数】公開・登録公報2007-026
【出願番号】特願2006-551321(P2006-551321)
【国際特許分類】

C 0 8 L 101/00 (2006.01)

【F I】
C 0 8 L 101/00

【手続補正書】
【提出日】平成20年1月18日(2008.1.18)
【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項 1】

付加硬化性物質との付着性が向上した組成物であって、
有機のポリマーであって、エチレン性不飽和及び水素化珪素官能基を含まない樹脂成分、及び
前記樹脂成分に配合される、フッ素置換オルガノポリシロキサン、アミノ官能化オルガノポリシロキサン、不飽和カルボン酸又はカルボン酸塩、及びそれらの組み合わせからなる群から選択される添加剤であって、付加硬化性物質と反応するためのヒドロシリル化反応性基を含む添加剤、
を含む組成物。

【請求項 2】
前記添加剤のヒドロシリル化反応性基が、付加硬化性物質と反応するためのエチレン性不飽和官能基を含む請求項 1 記載の組成物。

【請求項 3】
前記添加剤が、前記フッ素置換オルガノポリシロキサンを含む請求項 1 又は 2 に記載の組成物。

【請求項 4】
前記添加剤が、前記アミノ官能化オルガノポリシロキサンを含む請求項 1 ～ 3 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 5】
前記添加剤が、前記不飽和カルボン酸又はカルボン酸塩を含む請求項 1 ～ 4 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 6】
前記添加剤の前記ヒドロシリル化反応性基が、付加硬化性物質と反応するための水素化珪素官能基を含む請求項 1 記載の組成物。

【請求項 7】
前記添加剤が、前記フッ素置換オルガノポリシロキサンを含み、前記フッ素置換オルガノポリシロキサンが、フッ素置換オルガノ水素ポリシロキサンを含む請求項 6 記載の組成物。

【請求項 8】

前記添加剤が、前記樹脂成分 100 質量部に対して 0.001 乃至 30 質量部存在する請求項 1～7 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 9】

前記樹脂成分が、ポリスチレン、ポリアミド、ポリカーボネート、ポリオレフィン、スチレン-アクリロニトリルコポリマー、アクリロニトリル-ブタジエン-スチレンコポリマー、ポリエステル、ポリウレタン、エポキシ樹脂、ポリフェニレンオキシド、ハロゲン置換有機ポリマー、ポリフタルアミド、ポリフェニレンスルフィド、液晶ポリマー、ポリシクロヘキサントレフタレート、及びそれらの組み合わせからなる群から選択されるポリマーであると更に定義される請求項 1～8 のいずれかに記載の組成物。

【請求項 10】

請求項 1～9 のいずれかに記載の組成物から形成された 1 以上の基板、
前記 1 以上の基板上に配置されている付加硬化性物質、
を含むことを特徴とする、複合材料製品。